

津田塾大学の AP 事業が 目指すところ

リベラルアーツ教育のなかに学外学修を位置づけて教育の質的転換を促進し、建学以来培ってきたオールラウンドな女性の育成を更に強化する。

2015年度 事業開始時点

多様で特色ある学外学修活動が行われ、一定の支援制度も存在したが、以下の問題があった。

- 学年暦の制約により長期学外学修活動が困難
- 参加する学生が一部に限られる
- サービスや業務が複数の部署に分散
- 単位認定の仕組みが不十分

本
取
組

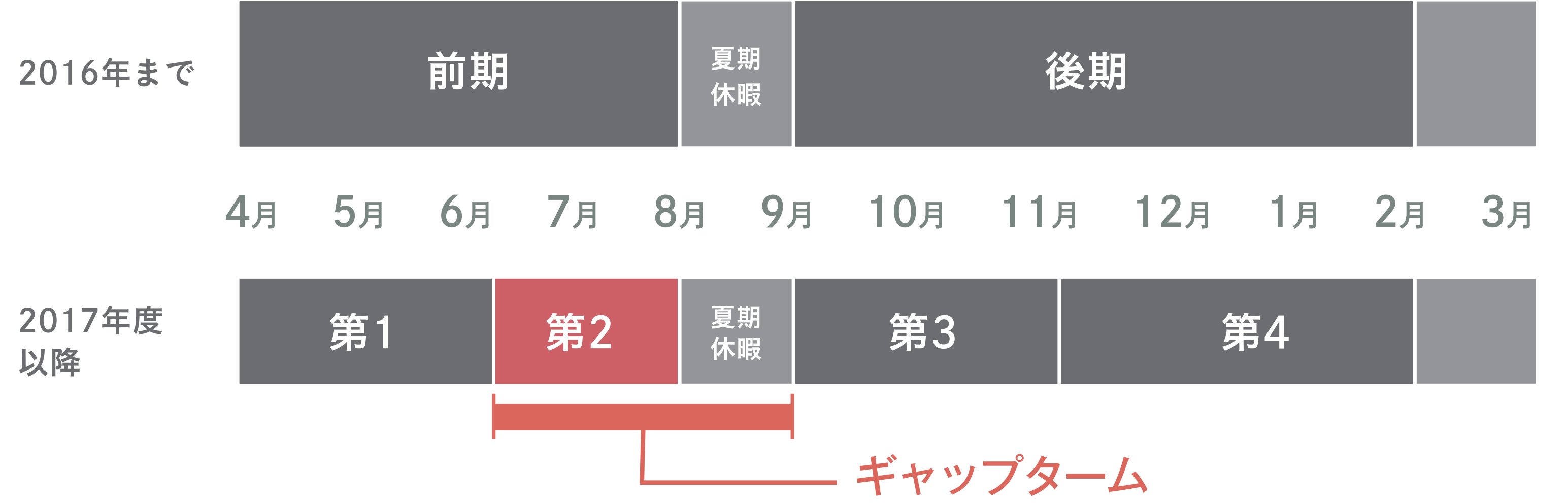
- 2016- 学外学修センター配置** 学外学修活動への組織的サポート、学外学修情報の蓄積・共有、学外学修関連サービス・業務の集約
- 2017- 学年暦見直し** クォーター制によるギャップターム導入で長期の学外学修や海外での活動を可能に
- 2017- カリキュラム改善** 「インターンシップ」、「サービ斯拉ーニング」、「インデペンデントスタディ」科目を設置し、学生の自主性を尊重しつつ、学びの質を保障するシステムを構築

津田 Vision2030

— 変革を担う、女性であること —

ギャップタームを導入

2017年度から、4ターム制に完全移行



学外学修の種類

学外学修 関連科目を 整備

- インデペンデントスタディ** 海外サマープログラム、企業でのPBL研修、自主プロジェクトなどが対象
- サービ斯拉ーニング** ボランティア等の社会奉仕活動が対象
- インターンシップ** 民間、官公庁、NPOなどでの就労体験が対象

[履修の流れ]



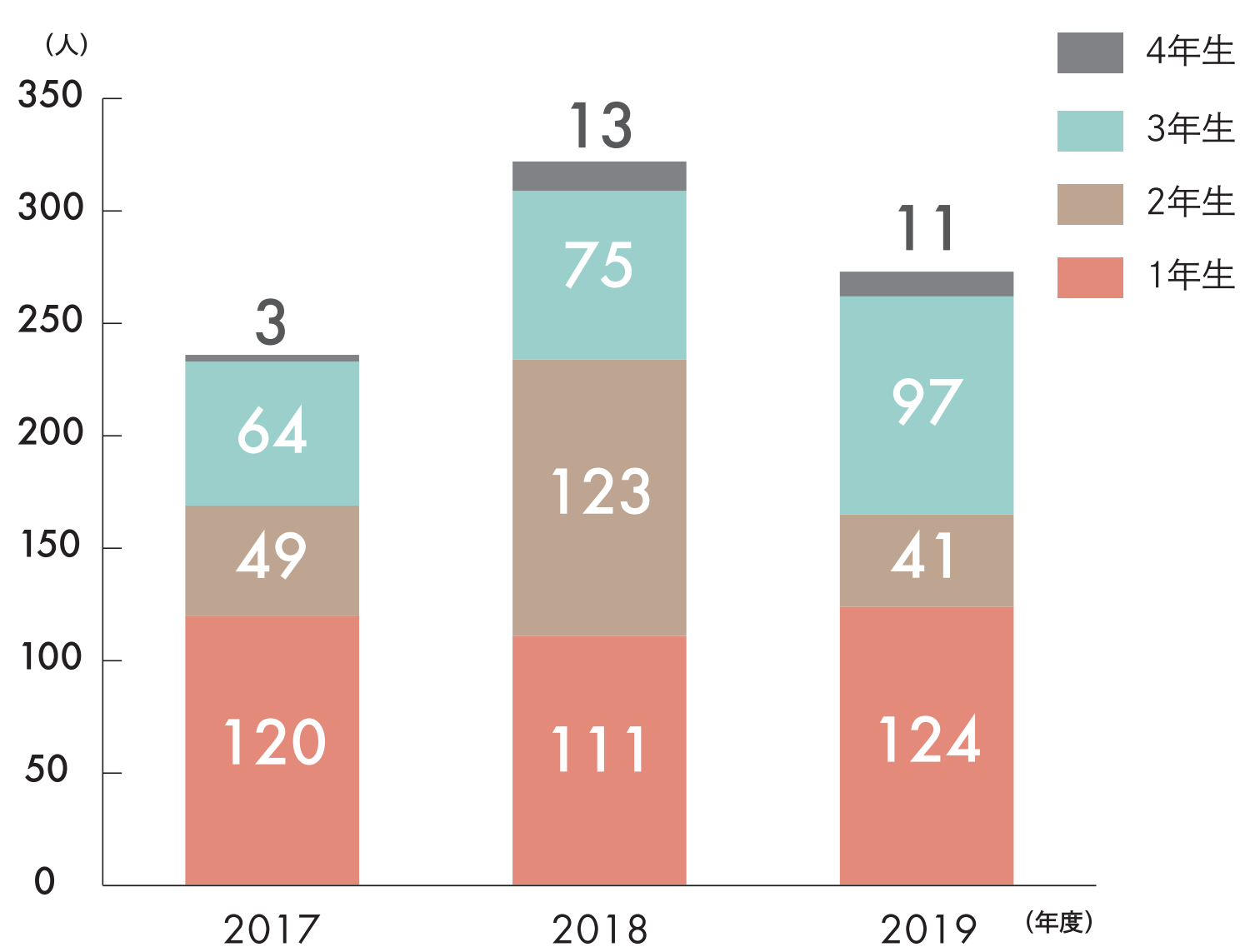
外部パートナーとの連携 インターンシップ、PBL研修で学生を受け入れ

パナソニック/日本IBM/日本航空/パソナグループ/朝日新聞社/三井住友銀行/マニライフ生命保険/デロイトトーマツコンサルティング/日本総合研究所/第一生命保険/資生堂/日立システムズ/エイチ・アイ・エス/野村證券/キリン/日本レーザー/セブン銀行/オイシックス・ラ・大地/エシカル協会/ETIC./国際協力推進協会 他

実績

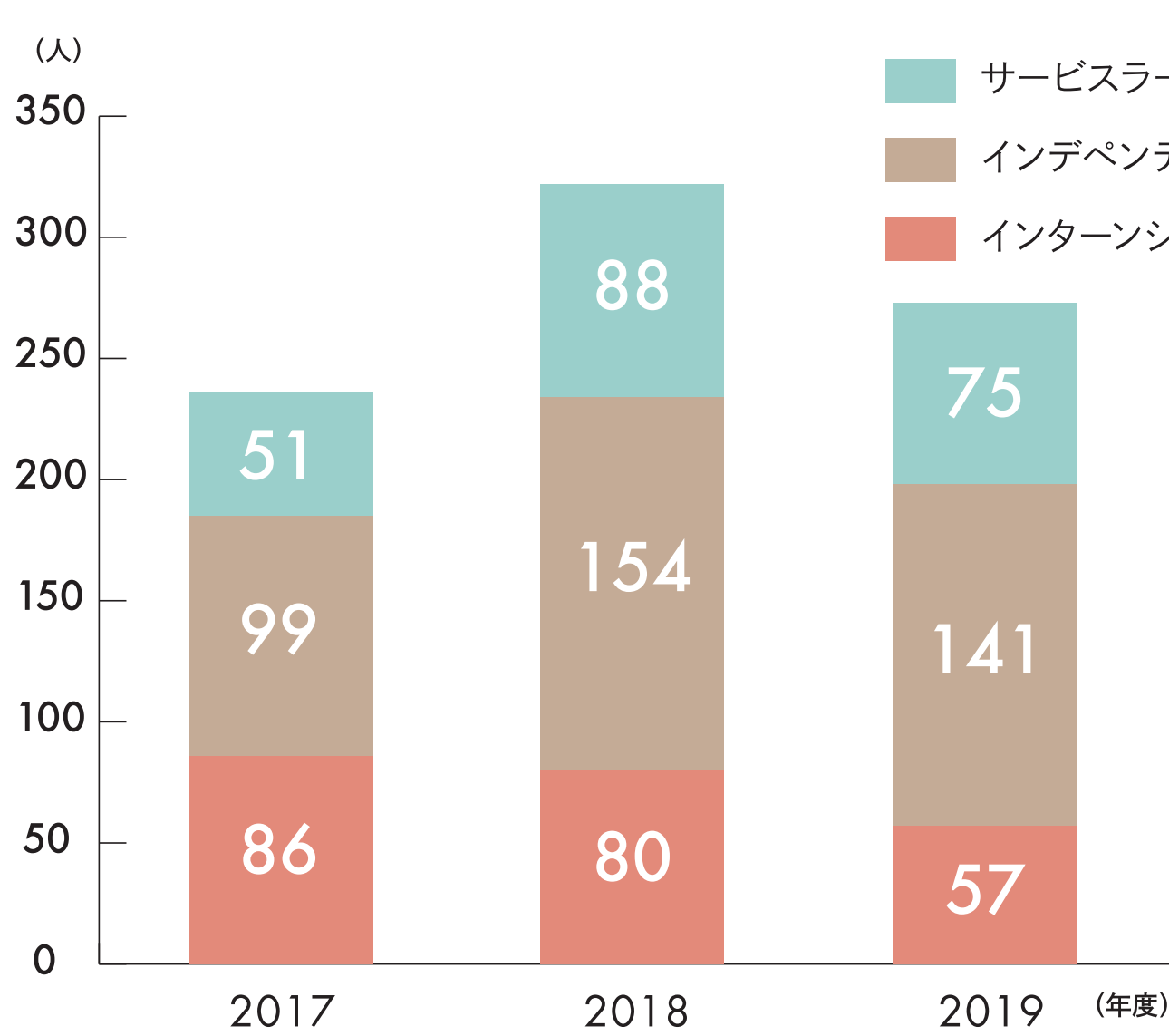
学外学修 参加者数 (学年別)

1、2年生が参加者の50%超



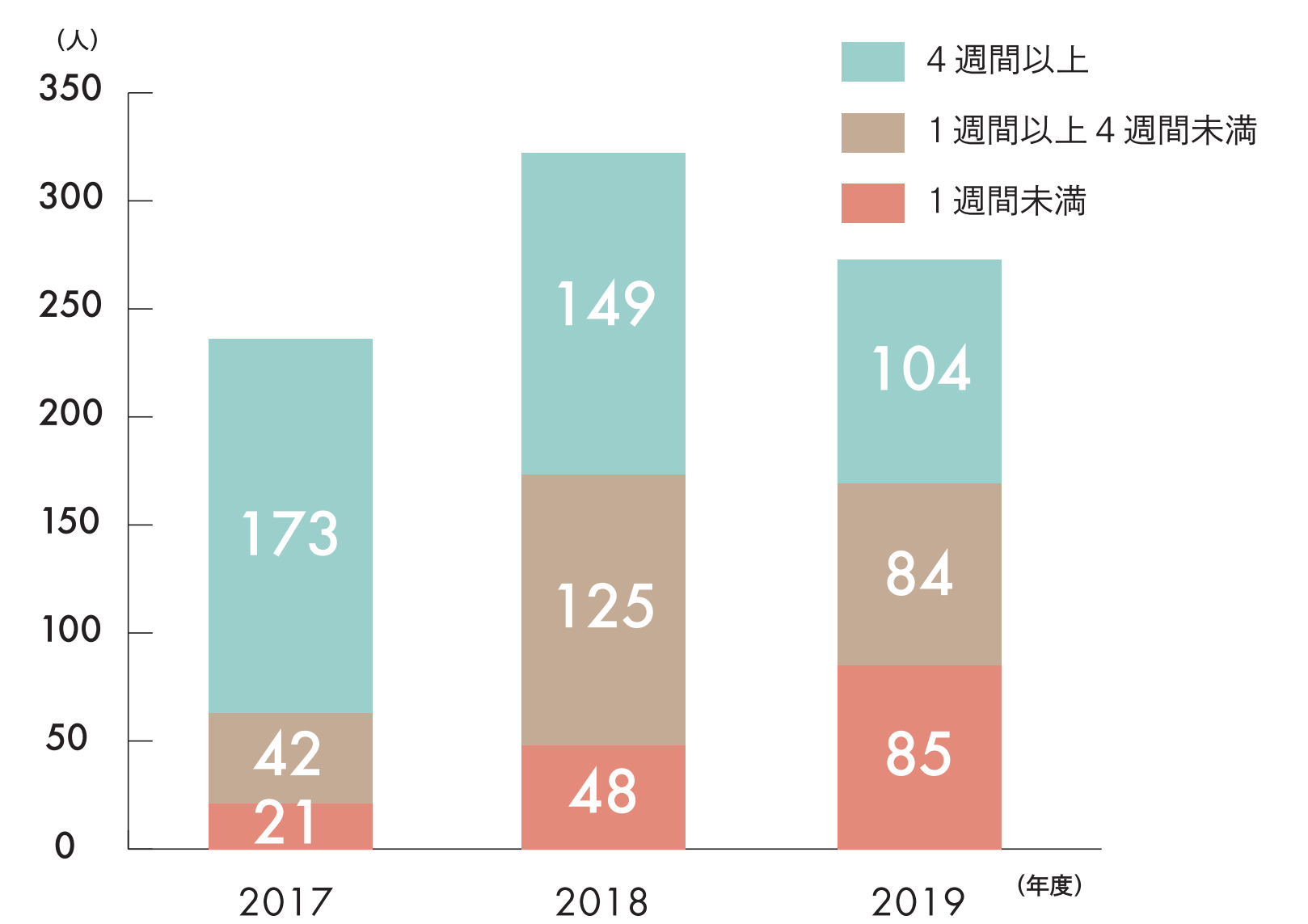
学外学修 参加者数 (科目別)

インデペンデントスタディ (PBL等) の参加者が多数

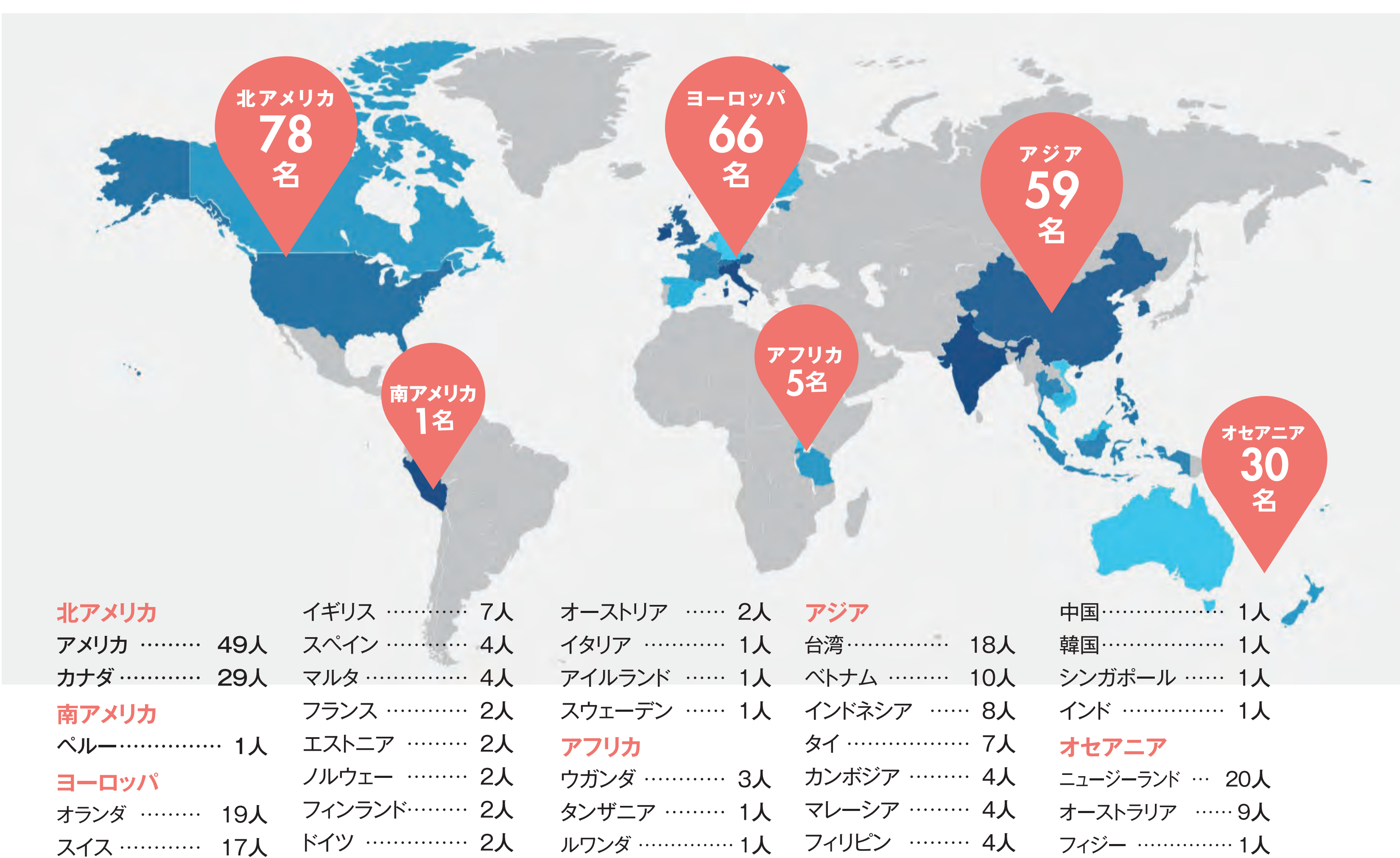


学外学修 参加者数 (活動期間別)

4週間以上の活動が多かったが、漸減傾向



約240人 (全体の30%) が34ヶ国・地域にわたって活動



ギャップターム導入の効果と課題

ギャップターム導入は、学生の自主的な学外学修を促す効果があった。特に1、2年生は意欲的に学外学修に参加する傾向がみられた。外部との連携が促進できた。国内では、多くの企業から関心が寄せられた。(但し、1か月以上の受け入れは、企業、学生双方にとって困難もあった) 学年暦の改定で、海外サマープログラム派遣の選択肢が増えた。

